

### 10．自由記述（主なご意見）

#### (1)男女共同参画全般について

日本はまだまだ欧米に比べると女性が低く見られている所が多いと思うので、女性の地位向上への意識や施策は必要だと思います。【男性 50 歳代】

男女が平等に家事をしていくことが大切だと強く感じる。今後更に平等な社会にしていくことが重要。【男性 20 歳代】

女性の意識改革も必要と思う。【男性 60 歳代】

平等ということを考えるのならば、女性 1 名以上でパーセンテージを平等に持っていきような考え方を、募集段階で決めるのは違和感を感じる。能力があり、平等な選択をしたうえでであれば、男性過多であろうと女性過多であろうとどちらでもよい問題を、男性に対して女性の人数をパーセンテージで割り当てて考えるような考え方は、かえって差別感が強いのではないか？【男性 30 歳代】

あらゆる分野に女性が進出することは望ましいが、ポジティブ・アクションには疑問を感じる。男女関係なく能力のある者を取り入れるべきで、結果的に女性の方が多くなっても、それは歓迎すべきことだ。若い世代ほど義務教育から男女平等を教育されており、男女のあり方への考え方が柔軟だと思う。女性の採用数などの目標を設定することこそ、上の世代や管理職の方々への意識が変わっていないと感じてしまう。女性が少ない分野は、女性を無理に入れれば解決する問題ではなく、入りやすい環境・仕組みを整えることが先決だと思う。【男性 30 歳代】

私はよく電車を利用するのですが、痴漢冤罪をかけられたときの女性側のリスクが少なすぎると思います。男性側は通報されただけで人生が終わる程です。こちら辺をどう考えているのでしょうか？あと、女性専用車両があるのなら男性専用車両も作って下さい。全然男女平等じゃないですよ。冤罪防止のためにお願いします。【男性 20 歳代】

女性のポジションに優先枠を設ける件ですが、能力のある人が抜擢されるなら問題ないが、能力が足りない人が抜擢されると、抜擢された人が苦勞するだけ。それが本当に本人のためになるのか否かが不明。【男性 40 歳代】

私は1950年生まれですが、優秀な女性がいることは見てきております。例えば数は少ないですが、大学院にもおりました。彼女達は男性の平均的な能力よりも優れておりました。多分社会的制約を乗り越えて上がってくる程、十分な実力があつたのでしょう。男女平等に関する法律等がなくても男女の能力が公正に判断され、実力を持った女性が自然に社会進出できる社会通念ができることを望みます。一方で男性は子供を産めません。母乳も与えることができません。現在では明らかになっていないと思いますが、例えば脳の研究が進むと「女性は子育てに向けた思考をする」等の生物学的制約が発見されるかもしれません。そうした本質的な特徴を無にして「男女平等」を法律で規制すべきなのかは、熟慮が必要だと思います。しかし先日新聞を見ていたら、「男女平等」の世界ランキングが100位台で、特に政治分野が低いとのことでした。程遠いということなののでしょうか？【男性 60 歳代】

## 自由記述

仕事やスポーツ等への女性の参画に、生理的なハンディをカバーできるような医療面や環境(施設)等の整備が必要だと思う。【男性 60 歳代】

男女が平等に共同参画することは、今後大変必要(重要)なことであると思います。しかし現実には男女共にまだまだ意識が低い傾向が強いのではないのでしょうか。男女平等とか叫んでいるものの、現実にはそれぞれの性別に甘えていることが多いと思います。男性だからこうしなければならないとか、女性であるからこれはしなくてもよいというようにです。当の男女共同参画は何でも平等ということではなく、それぞれの性別のよい所を生かしながら進んでいくことが本当の男女共同参画であると思います。【男性 50 歳代】

大変によい事とは思いますが、やり方が拙速すぎる。【男性 70 歳以上】

女性の権利が高まるのはよいことだと思う。女性だからと言って差別されるのは、よいことではないと思う。【男性 50 歳代】

男性・女性互いに補い合っていければよいのですが、現実には難しい問題があります。私は女性ですが、今までに嫌な面もあったけど、得した面もありました。神のみぞ知る残された期間を、なるべく有意義に過ごしたいと思います。【女性 60 歳代】

男性にしかできないこと、女性にしかできないことがあるのだから、全て平等にしなくてもよいと思うし、伝統(例えば相撲の土俵には女人禁止とか)というのは守ってもらいたいので、全てを平等にとは思わない。ただ同じ職場や家族、関わりがある人達には、それなりに人間として礼儀をわきまえて接して頂けたらと思うし、女性への暴力等は少なくしていきたいと思う。自分にはできない分野で女性が活躍しているのを見るのはすごく励みになるが、自分が努力してやってみようとは思わない。【女性 30 歳代】

現在、女性の進出が昔に比べたら目覚ましい。実力があれば男性・女性関係なく活躍できると思う。【女性 60 歳代】

同じ人間でありながら、生物学的に異なる女性と男性が全て平等にというのは無理があると思いますが、どちらが上・下ではなく対等な関係、お互いに足りない部分を補いながら生活できればよいと思います。男女性別問わず仕事ができる企業では(肉体的に無理な仕事もあるので)、就職試験のとき性別を企業側に分からないようにして、成績のみで合否を行うようにしなければ、企業は必ず性別で選びます。いくら法律で決めたとしても無駄です。男性 %、女性 %とか分けるのは、逆に差別ですね。日本人の意識自体が変わらなければ駄目でしょう。【女性 30 歳代】

“女性は...”というアンケートや“女性ならでは...”ということ自体がナンセンスだと思う。男女に関係なく、実力のある人になら“女性だから頼みたい”ではなく“ さんに頼みたい”となると思う。性別ではなく個々が自分の得意・不得意を見極めて行動すればよいと思う。以前から思っていたが、“ミスコン反対”の女性に対してすごく嫌悪感を抱く。ミスコンに出る子達は自分の得意性を生かしてトレーニングし夢を持って臨んでいるのに、それに反対する女性こそ何も本質を見ておらず、むしろ“女性”というものを悪い意味で意識し過ぎだと思う。力がある男性は、女性が重い物を持っていたら運ぶのを手伝えばよいし、可愛い女性は笑顔でお礼を言えば相手も癒されると思う。身体や脳の仕組みも違うのだから、無理に平等を訴える方が不自然な気がする。要は性別ではなく本人次第だと思う。【女性 40 歳代】

男女共同参画はなかなか難しいことだと思いますが、是非とも前に進めて頂きたいと思います。【男性 30 歳代】

男女共同参画社会が言われながらも全く進展していない。具体化をもっと進めるべきである。【女性 60 歳代】

男女共同参画に関し、女性特有の気配り・目配りなど気が付く点が多いことから、積極的に参画してもらった方がよいと思う。【男性 60 歳代】

戦前の男尊女卑の風潮が、今でも全てとは言わないが部分的には残っている。又それを是認する面も残っている。意識改革と完全男女平等化意識の植え付けが必須と思います。【男性 70 歳以上】

女性でもできる人はどんどん進出した方がよい。【男性 60 歳代】

「子を産む」という点では、女性しかできない行動である以上、現状では出生率と女性の社会的地位向上は反比例するものと考えます。男性の各種休暇取得環境の改善には限界があると思いますので、社会的性差をなくし、雇用形態を含めた組織改革の必要性があると思います。ただ男性と女性で決定的な違いがある以上、あまり強引に平等を推し進めるのはどうかと思います。【男性 30 歳代】

男女共同参画自体は「賛成」です。会社でも徐々に改善しつつありますが、まだ能力・やる気があってもその立場につけないのが現状だと思います。そのためにまずは意識改革が重要で、その意識改革をするために数値目標をもって推進していくことは、1つのやり方だと思います。しかし過度になるのは見合わない人を登用することになり得るので、バランスが必要です。数値目標は数値目標であって、MUST(マスト)ではないと思いますが、数値目標によりActionを起こすことで意識を変えていくことには賛成です。男女平等はよいのですが、しかし男性は男性、女性は女性であり、その性を超えてまでも行うことには反対です。例えば先の質問にあった「教育」において、全てが男女平等の教育をすることには反対です。【男性 60 歳代】

女性の進出が(勤め)目立ちすぎて身勝手になっているような気がします。若いうちは自由に働いて、結婚したら家を守り、子育ては自分自身の手で一生懸命やられたらいいかたがででしょうか。困ったときには助けを求めたらよいと思います。【女性 70 歳以上】

### (2)教育分野における男女共同参画について

男女共同参画社会を考えるにあたっての基本的に重要なことは、県民の人権に対する意識の問題が大きいと考えます。普段からの他人の存在に対する尊重など、幼児期からの教育の積み重ねをなくして達成できない問題と思慮します。特に小さい頃からの意識が大きく影響し、義務教育に重要な役割が期待されることと思います。そこで教育すべき教育内容をどのようなものにすべきなのかが、問われてくるのではないのでしょうか。すなわち、女性・男性とは何なのか、人間とはどのような社会的存在意義を持つべきなのか等についての回答を求められることとなる。この難問を避けて通れず、悩むこととなる。現在行われているような形式的平等や、目標値を定めたハンディキャップ制は女性に対する軽視・蔑視なのではないかとの意見も一部にあるように、過渡的措置とは言え真の共同参画にはなっていないように思います。計画の策定にあたっては、広範な分野の人々からの意見・議論を広め、深めて頂くよう希望致します。【男性 60 歳代】

女も男も同じことができるのが平等と考える人を非難するつもりはありませんが、男と女ではできることが違うのです。分かりやすく言うと、女は力では男に負けるのです。たまに負けない人もいますが、ごく稀です。男女は平等ではあるけれど、男と女はできることは違う、役割は違う、と子供の頃から教育して欲しいと思います。私の父は昭和1桁で男尊女卑です。世の中がどんなに変わっても、考え方は一生変わりません。子供の頃の教育が何より重要だと思います。【女性 40 歳代】

### (3)雇用分野における男女共同参画について

男女共同参画を推進しているのはいかがですが、社会的にはまだまだ男女間での差別が存在する。職場での昇進に際し、同学歴であるにも関わらず男と女で昇進に差別待遇があった。中年以降の年代では、まだ年齢に関わらず女性に雑用をさせる傾向がある。【女性 50 歳代】

民間の会社(金融業界経験者)は非常に男性優遇の世界でした。女性でもある私は、いくら努力しても能力があってもチャンスや制度がありませんでした。利益を追求しなくてはならない民間では仕方がないことなのかもしれません。できれば公務員等官公庁の世界でどんどん女性活用を進めて行って欲しいです。子育てしながら働く女性にとっては、地元で働くことが効率がよいのです。【女性 30 歳代】

育休や産休が本当に取り辛しいし、周りの理解を得られにくいので、産休や育休を取らせてる会社への優遇(メリット)があるべき。大きな所でない中小では欠員が出たら人を補充するし、補充したら育休を取った人は戻る場所がありません。保育所も入れないし、私立だと高く、働いてもほぼ保育料に行っ手元にお金が残らないと思うと、正直働くのは無駄かと思う。【女性 30 歳代】

男女平等は分かるが、全ての業種で平等とはいかないと思う。性別でやはり向き・不向きがあると思うので。【男性 40 歳代】

仕事をしている子育て中の女性に対して、勤務上の配慮をしてくれない職業がまだまだ多いと思う。子育て中の女性の業務負担を軽くするか、出産を機に退職しても復職しやすいような制度をどんどん推進しないと、少子化に拍車がかかると思う。【女性 30 歳代】

このアンケートで労働環境が少しでも向上してくれることを願います。【男性 30 歳代】

現実問題として、女性の社会的立場は低く、社会に出ても活躍しにくいという状況であると思う。女性が望むのなら、社会に出て管理職になったり大きい仕事を任されたりして活躍するのは自由だと思う。と言うより、その権利は守られなくてはならないと思う。ただそれは周りの男性達と能力等の面で平等に比較され、勝った場合に関してのみである。私個人の意見としては、一般的にまた統計的に見てもそうだと思うが、男性の方が女性よりも能力(多くの職業で必要とされる能力、発想力や瞬発力、忍耐力等)が高い。その中の例外、つまり能力のある女性が社会で立場を確立することは阻害されてはならないし、これでこそ平等なのだと思う。今日世間的に広まりつつある男女平等社会を目指す風潮は、女性の社会的立場を全体的に推し上げようとする余り、能力のない、もしくは一般的な女性までもが同じような能力の男性よりも高い地位を獲得するようになっていくと思う。まず女性が社会に進出しやすい・一歩を踏み出しやすい制度を確立することは大事だが、その一環として無理に女性管理職を増やしていこうとする試みは間違っていると思う。初めの一歩を後押しするのは必要だが、その後どうにかするのは、結局女性自身、その個人次第なのだと思う。【男性 20 歳代】

キャンペーンで男女平等を言っても変わらない。官公庁はやりやすいが、民間は進んでいないということは、難しいということだ。一番の課題は、女性の給与が低いということだ、特に「士」と付く保育士、看護師etc、大切な割に給料が低い。官公庁に勤務すれば同じ仕事をしていても差が大いにある。民間も底上げする必要がある。女性の中でも意識レベルを上げないと全体としての男女平等は程遠い。小学校から意識を変える教育が必要と思う。【男性 60 歳代】

仕事のできる女性の社会での積極的な取り組みや、給与面での配慮が必要と思う。男性が女性の仕事内容についてよく理解する機会を設けることが大事。【男性 60 歳代】

知識・資質・能力・体力のある人は、ポジティブ・アクション制度に関係なく登用すべきです。本設問は中小企業や農業・漁業等に対する配慮が欠けているように思える。もっと若い層の生活環境に関する設問が欲しかった。(又、そうした人達のことにも配慮して欲しい。)【男性 70 歳以上】

結婚し子供が生まれたら、女性は仕事を辞めて家庭に入り子育てに専念するという考えの男性が、昔も今も変わらないように思います。男女平等や女性の社会進出について物わかりよく言う男性の本音は、子供の発熱で度々欠勤するママさん社員を苦々しく思っていることも事実だと思うのです。世の中全体が、会社で働く独身の男性女性も、そして男の人の全てがもっと結婚後の女性・子育て中の女性が社会に関わって立派に仕事を続けていけるように、理解を示し協力的であってくれたらと思います。そのために、リーダーシップをとって国にも県にも堂々と出て発言していける女性が沢山いてくれたらと願っています。女性の立場を考えていけるのは、やっぱり経験をした女性だと思うのです。女性の立場を考える女性が、もっと増えて欲しいです。【女性 60 歳代】

女性幹部の積極登用により、適性が不十分な方が登用されることが多くなった。会社の活力を失いかねず、数値目標などの設定は反対。あくまで「公平」に。【男性 50 歳代】

あまり周囲が男女平等、女性の雇用機会が少ない等ということは気にしないでもよい。能力のある人は男女関係なく仕事に就いている。働きながら家族・地域活動に参加している人も沢山います。能力のない人が優先されることのないよう、平等の考えを間違わないようにして欲しいです。【男性 40 歳代】

フルタイムの仕事をしていた時、病気の子供を預かってくれる所がなく、何度も大変な思いをして結局主人が切れて辞めざるを得ませんでした。女性が仕事をする場合、協力者は必要であり、いない場合は困難になるので、欧米並みに色々なシステムの充実を望みます。【女性 40 歳代】

女性が社会に進出するために雇用の優先枠を設定したとしても、男性の意識下で「女性ばかり優遇されてずらい」「不平等」と感じられることが増えれば、表面化しない性別間の溝が深まるだけのように思う。これは女性専用車両が作られ始めたときにも感じ取れた。また優先枠を作ったとしても、あまり重要性のない役職にまわされることになっては、男女共同参画とは言えない。むしろ結局女性は子供を出産することで仕事を休むことになるし、結婚したら家に入るために寿退社する人が多いのが現実。会社側・雇用側も人を育てるのはタダじゃない。女性側も子供を産むか産まないか決めてから就職を決め、それを雇用側に伝えるべきだと思う。仕事を辞める女性は雇用の段階でそれを伝え、腰掛けの役職をもらえばよい。雇用側だけ「女性」を雇うリスクを負うことが不平等に思える。また経済成長を望む企業と、介護・育児がしやすい専門の企業等に分けて各々明示するなど、1人1人に人生の選択をしやすくできるようにすることが、男と女が自分のジェンダーを意識してちゃんと役割を考えて権利を掴むようになる、男女共同参画社会になると思う。【女性 20 歳代】

子供が幼稚園に通っているうちは働きにくいので、一日3～4時間働くことができるような場所がもっと増えてくれればと思う。【女性 30 歳代】

男女雇用機会均等法が制定されて大分見直しはされたものの、それはごく一部での話のように、今でも思います。一人一人の認識は企業にも反映しており、出世は軒並み男性が多く、産休・育休なども快くは思っていないでしょうね。まだその格差は充分にあると思います。家庭内や地域もどうでしょう。親から代々受け継がれ、その習性がどこかで変わらない以上は、共働きをしても妻の負担は減らないように思います。今回の男女共同参画は画期的なことだとは思いますが、時間はかかると思いますが、この先の日本全体の存続を考えるのであれば、どこかで転換しなくてははいけません。お年寄りも子供も、そして意欲をなくしている若い人達も住みやすい国づくりをして欲しいですね。【女性 50 歳代】

### (4) 子育て・家庭生活について

女性が社会で平等に扱われることと同じ位、女性が子育てを選択する尊さも啓発していくべきだと思います。子供は母親を必要とする場面が多いのは事実です。そのときに子供がストレスとを感じるか、何とも思わないかは子供の性質による所が大きいと思います。自分の子供と向き合い、自分の子の性質・性格を見極めたうえで、子育てか就業かを選べる社会が理想だと思っています。ストレスフルな子供に振りまわされる教育現場は大変です。【女性 40 歳代】

中3までの医療費の無料化、子育て支援の充実がなければ、少子化対策にはならないと思う。【女性 30 歳代】

社会問題化する全てにおいて、特異な意見が表面化させられているような気がする。自分が育ってきた環境の中では、男女差別を感じたことはありません。父は母を愛し敬い、母は共に生きる。子は母に優しさを感じ、敬う。国全体の経済性から女性を無理やり引っ張り出すのは、社会の崩壊を招くと感じる。いつもメディアは施策の先兵となって洗脳を始める。母に母性を感じるの動物としての本能であり、父性がその代わりをなすとは考えにくい。【男性 60 歳代】

私は60才の定年を期に、次女の長女(孫)を保育園に預けず保育して参りました(現在5年生)。共働き夫婦の場合、保育が一番重要になってくると思います。やはり職場に保育の場を作ることが少子化対策には一番と思います。【女性 70 歳以上】

女性が社会で働くことを強く推し進めているが、それは個々の家庭の考え方の自由だと思います。それによって配偶者控除を撤廃したり、税金の納め方が変わってはならないと思う。男性が毎日のように深夜に帰宅するような勤務状況では、夫婦間で家事分担は無理であり、それにプラスして女性がフルタイムで働く環境では、家がパンクしてしまいます。妻は忙しさのあまり夫にあたることもあり、家庭の中がギクシャクしてくるのではないのでしょうか。夫にのびのび働いてもらうには、妻のサポート(家の中のことができる)が必要だと思います。また妻ができる範囲で働くことで(働かなくてもよいが)、子供のことに目を配る余裕が出てくる。SOSの早期発見にも繋がり、会話も多くもてることで、友達や学校の様子もおおよそ分かってくると思います。また夫婦自身も限られた時間の子育てを楽しむことができます。これは個人的な意見で、フルタイムでもきちんと家事・子育てをされている方もいらっしゃるので、とにかく強制は止めて欲しいと思います。【女性 40 歳代】

子育てに関しては、昔の意識は大分変わってきていて、男も協力していると思う。しかし私は昔人間なので、経済が上手く回れば夫が外で仕事をし、賃金を稼ぎ、妻は子を産み育て、休みの日に家族仲良くリフレッシュする形が好きです。【女性 50 歳代】

男女があまりにも平等となると、それなりにあった役割が失われ、収入面からも心配のなくなった女性は、益々結婚しなくなるでしょう。昔は「早く結婚して子供を育てなさい」と親や職場のおじさん方に言われ、その通りにして今はとても幸せです！セクハラと受け取らず、お節介な古き良き...みたいな感じでもよいのではと思っています。このままでは日本は少子化の一途を辿ります。千葉だけでも“子沢山”“出会えて結婚して幸せ”な地域を作りましょう！県で出会いの場所を是非作って欲しいです！よろしく願いますね。このようなアンケートを実施して頂き嬉しかったです！【女性 40 歳代】